

## 第2回 いいやま菜の花文庫活用検討委員会会議録（要旨）

令和5年（2023年）12月1日（金）

午後5時30分から6時50分まで

飯山市公民館101会議室

出席者 委員13名、事務局5名

### 1 開会 図書館長

### 2 あいさつ

会長：今回は2回目ということで、今後このような絵本の活用がしたいとか、こういうところに置いて、こういうふうには絵本をみんなに読んでもらいたいとか、そういうご希望も含めて皆さんからのご意見をいただきたい。来年度こんな活動ができれば良いという目標も含めてお話を伺えればと思う。

第1回会議に欠席された委員の自己紹介 委員4名

### 3 協議事項

#### （1）寄贈図書の保管場所（案）について

事務局：前回の検討委員会で保管場所は、現在の図書館の3階の多目的室、学習室を活用してはとの意見があり、事務局で別紙資料1のような案をまとめたのでご説明する。

委員：提案は良いと思う。新しい絵本の部屋は本をリラックスして読めるような、子どもが寝転んで読めるようなデザインにしてほしい。

委員：新しい絵本の部屋には質問を受けるなどのカウンターを置くのか。また小さい子を連れてお母さん方が来ると思うので、授乳室やおむつを替えられる台が近くにあれば良い。学習室の需要は多いと思うが、勉強するところが少なくなるのは残念。公民館とタイアップして対応してほしい。勉強しても良いよという図書館は全国的にも珍しいので、その特色を残してほしい。

事務局：カウンターという形になるかどうかは分からないが、司書はそこにいてもらってご案内できるようにしたい。授乳室等は今や公共施設では必須なものなので対応していきたい。学習室は現在のテーブルではなく、セパレート型で自分の空間と感じられるような仕様をイメージしている。フリーWi-Fiとし、パソコンの使用も可能となるようにしたい。飯山市の場合、文化交流館（なちゅら）やJR飯山駅で勉強している人もいるので、そういう人も一定数いることから、図書館でも同等の勉強しやすい環境を確保したいと思う。

委員：多目的室に寄贈本をすべて収納することを前提に進めているのか、それともそこ

をメインとして図書館以外の他の地域へ本を貸し出すことは可能か。また中学生や高校生から図書館で勉強しているという声を聞いている。勉強できる十分なスペースが確保できないのであれば、公民館の部屋などどこかを学習室として活用できるように確保してほしい。

委員：前回の会議で多目的室の利用者がいるにもかかわらず、そこを新しい絵本の部屋にすることについては図書館として本末転倒ではないかといった意見もあった。そうした意見も踏まえて納得してもらえるような数字的なもの、例えば利用者が何人で、新しい施設はどういうふうになって、許容人数はどのくらいで、このようにリニューアルされるので今までよりもはるかに広がって、絵本も入るようになれば一石二鳥ではないかとか、学習する学生たちがいっぱいの場合にはこう対応するという説明をして、絵本の部屋を作ってもこれまでの利用者が不利益を被らないという大前提を説明できるようにしていかないといけない。

事務局：上野さんからはおよそ1万冊もらう予定で、その分は多目的室にすべて収まると思う。その後上野さんのご紹介で絵本作家から絵本をもらうなど寄贈本が増えてくれば違うところも考えていかなければならないと思う。統合後の小学校の空き校舎などが考えられるが相談していきたい。現在多目的室の利用者も学習室を利用できるよう数字的な担保ができるようにしたい。

学習室の利用については、平日はほとんどなく休日は10人前後。多目的室は普段5～6人の利用がある。

今は学習室は主に学生用、多目的室は主に社会人用としているが、土曜日や日曜日にも一室に集めても大丈夫だと思う。絵本の部屋が2階から3階に移るので、他の図書館を見ても閲覧室内にも学習机を置いているところもあり、そうしたことも考えている。春休みや夏休みに学生がいっぱい来て、3階の学習室と2階の学習機の容量を超えた場合には公民館を使うなどの方向にしていきたいと思う。利用者にはしっかり情報発信したいと考えている。

委員：寄贈本は図書館にすべて収納し読んでもらうことが主になると思うが、他の場所へも、例えば地区活性化センターなど地元でも読むことができるようにして、それを巡回して身近なところで利用できるようになれば良いと思う。本のクリーニング作業をしてみて自分でも読みたい絵本がいっぱいあった。字も大きいし素敵な絵もいっぱいあるので、子どもだけでなくお年寄りにも良いので地元で読めたら良いと思った。そうした分冊も可能かどうかも含めて考えてもらえたらありがたい。

事務局：今は保育園、小学校、デイサービスセンターへ本を貸し出している。そこへ地区活性化センターを加える形になるのかと思う。

例えば100冊とかの単位で1か月くらい貸し出して、それを巡回することはできる。

会長：貴重な寄贈本なので多くの市民の方に手に取ってご利用していただきたいし、寄

贈者もそう希望していると思う。

委員：寄贈本は多目的室へ持っていくということだが、絵本の他に小学校高学年向きの本などもあり、そうしたものもすべて新たな絵本の部屋に持っていくのか。今の絵本の部屋の周りにある小さい子や未就学児、小学校低学年向きの本も全部持っていくのか。

事務局：幼児から小学生低学年までの絵本を含む子どもの本は3階に上げ、小学校高学年向けの子どもの本は下に置くという考え。

委員：絵本の部屋を3階に作るとしたら、乳母車を押したお母さんがそこまで行くのかと考えると、3階と2階の閲覧室をつなぐ螺旋階段がつかないかとかいろいろ思ってしまう。児童書と絵本が分かれてしまうのはもったいないという意見について、例えば2階の郷土資料や参考資料のコーナーの本を3階に上げて、絵本の部屋のスペースを広げて児童のスペースとともに2階にまとめるのも案かと思った。

委員：上の子と下の子で対象になる本の部屋が別れると兄弟姉妹のお母さんは困ると思う。

会長：13万冊の本を多目的室に置くことが可能とすれば児童書も持っていくことはできるか。

事務局：可能だと思うが、13万冊は理論値であるため、児童書の置き場所は分ける必要がある。

多目的室は配架の仕方を考えないといけないし、リラックスできるスペースも考えないといけない。そのためには児童書すべてを入れることは考えづらい。

会長：絵本の部屋を3階に持っていくと、閲覧室が静かになって勉強するスペースもできる。子どもたちは年齢の関係があっても3階でリラックスできるようになれば良いのではないかと思う。

委員：3階の多目的室を絵本の部屋にすると学習室の隣になる。防音の効いた部屋なら良いが静かに勉強したい人にはどうなのかと思う。

事務局：音は響かないと考えているが、気になる人は気になるかもしれない。

委員（高校生）：多目的室はある程度のスペースがないといけない。緊迫感に子どもは敏感なので、四方八方が本棚だと、そこにはあまりいたくないと思ってしまうと思う。

委員：子どもが小さいときは絵本の部屋にお世話になった。上の子と下の子で利用場所が分かれるのは親として面倒なので一緒だとありがたい。小さいうちは図書館は静かな場所ということが分からない子を連れていくので、本の分類で2階と3階に分かれているのは良いと思った。

事務局：多目的室を絵本の部屋にするとエレベーターと絵本の部屋の間学習室があることになる。

委員：絵本の部屋を学習室に持っていくことは可能か。

事務局：可能である。学習室の方が広い。

会長：学習室は日当たりが良いので本が焼けるのではないかと意見もあった。

委員：図書館は飯山小学校の子は近いが、それ以外の子は親の車で来るので、地域の学校や学童保育の施設などいろいろなところに本を配置できれば良いと思う。

委員：城北小学校は児童館が新たに設けられるとのことで、そうしたところとの連携が大事になる。

事務局：学童保育や新小学校の児童館に本を置くことについては、まだ具体的な計画はない。寄贈された本の中には既に図書館にある本も一定数あることから、これらの本を中心に地区活性化センターや児童館に巡回させるということは可能と思われる。

会長：新しい絵本の部屋を学習室にするか多目的室にするか、すみ分けをどうするか、また地区活性化センターや児童館での扱いも検討していくこととし、いろいろところで上野さんの本を活用していくという方向で進めていきたい。

## (2) 寄贈図書の状況について

会長：本のクリーニング作業にご協力をいただきありがとうございます。本を拭く前後では感触が全く違うことが作業をやってみて理解できた。これから新たに届いた寄贈本をクリーニング作業していくが、都合のつく方はご協力をお願いしたい。12月5日と7日はボランティアをお願いしている。前回のクリーニング作業は学習室を使って大人数で行ったが、これから中学生や高校生の皆さんが冬休みに入り利用が頻繁になることが予想されるので、読書会室で最大10人くらいの人数制限をしてやっていければと思っている。

事務局：閲覧室のテーマコーナーで寄贈いただいた絵本200冊を貸し出しできるようになっている。

委員：本のクリーニング作業をする必要があるのかといった意見もあったようだが、本自体は拭く前後で極端に変わらないが、作業後のタオルの汚れを見れば歴然としている。

事務局：寄贈本713冊が貸し出し可能になっているのでどんどん貸し出しをしていく。まずは図書館2階に場所を整えてから貸し出ししていきたい。

委員：寄贈本全部を図書館で登録して学校等に巡回させていくのか。

事務局：今はそのイメージである。寄贈本のうち既に図書館で有している本が900冊ほどあるので、こうした重複する本は学校で活用していくことも可能だと思う。上野さんからは1万冊いただくので、全体が整ったところで対応を考えたい。

## (3) 寄贈図書の活用を高めるために実施する事業（案）（既存事業含）について

事務局：次第（3）①②③④⑤の説明

委員：①②③の事業は子どもや孫と一緒に経験させてもらった。大変良かった。図書館の通常勤務の中で事業の実施回数も多いので、もっとボランティアも参加できれば良

いと思う。小学校で読み聞かせをしているが、読み聞かせという言い聞かせるとか  
躰とかのイメージがあるので、私たちは数年前から読み語りと称している。このよう  
に柔らかい言葉を使ってもらえれば良いと思う。事業に賛成である。図書館の通常の  
業務に支障がないように進めてほしい。地区活性化センターで大人のための絵本講座  
などを行えば、そこに置いた本がお飾りにならずに活かされると思う。

委員（高校生）：事業は多目的室でやるようになるということだが、2つの事業の同時進  
行が良い。例えば右側で赤ちゃん対象の読み聞かせをし、左側で年長の読み聞かせ  
などをすればすみ分けの問題は解決できるのではないかと思う。

委員：今の事業を続けてほしいと思う。最近保護司会の研修でプロ（今井理恵子さん（中  
野市）ほか）の読み聞かせを体験し感激した。なぜ保護司会の研修かという、受刑  
中の若いお母さんが読み聞かせをした DVD を離れている子どもに届ける活動をして  
いる刑務所があり、それによってお母さんの声や表情を子どもに伝え、何年か経って  
出所されたときに再び子どもと生活できるよう支援をしている事例があったからであ  
る。読み聞かせの育成講座はもちろん、プロの話も聞けたら良いと思う。飯山市のこ  
の事業を今井さんも羨ましがっていた。中野市も寄贈本を借りられれば良いと言っ  
ていた。

会長：本委員会に顧問として栄村出身の横川さんに就いてもらっていて、栄村からも連  
携したいとの声をいただいている。行政を超えて連携できれば良いと思う。

委員：私も講座があれば受けてみたい。

事務局：講師として教えてもらえる人はいるか。

委員：ワークショップでマイ絵本を作るのも良い。内山紙を使って、話を書いて、絵を  
描いて、本を綴じるところまでできれば良い。和紙だと水の染みが良い。前に美術館  
で小林野々子さんの個展があったが、内山紙に絵が描かれていた。

会長：読み聞かせのボランティアが増えて司書の負担が少しだけでも軽減されれば良い。  
いろいろな方に関わってもらえれば良い。

事務局：清泉女学院大学は絵本専門士（民間資格）を養成する県内唯一の教育機関であ  
り、2020年から設けていて、全国では21校しかない。司書などとして活躍され  
ている絵本専門士は県内に8人くらいいて、読み聞かせや絵本の構成を教えたりする  
のが役割とのこと。飯山市が絵本のまちづくり事業を行うなら、同大学の塚原教授に  
全面的に協力していただけるとのこと。同大学や絵本専門士に講師になってもらうこ  
とも可能である。

会長：いろいろな方にご協力をいただきながら市民の皆さんの絵本に対する関心が増え  
ていけば良い。

委員（高校生）：家族が長期入院しているので絵本を届けようと思って見ているが、どん  
な絵本が良いのか分からない。子どもや親子向けだけではなく大人向けの絵本も紹介  
してほしい。

委員：図書館の新刊書棚の辺りに大人のための絵本コーナーなどを置いてもらえると堂々と絵本が見られる。

委員：小学校のカリキュラムの国語の単元で3年生くらいからお話を作ったり素語りを作る場面がある。自分だけの絵本ができると気分が上がると思う。そういうところに絡めても良いと思った。読み聞かせの育成講座に関して、中学校ではキャリア教育で保育園や福祉施設へ行ったりしていると思うので、そういう授業と絡められれば良い。

委員：笠地蔵という絵本があるが、古くは62年前に発刊された瀬田貞二さんという絵本作家のものがある。その方の作品は飯山で聞いた話を絵本にされたものだという説を研究されている人もいる。飯山に絵本が広がり、読み語りや読み聞かせが広がると、そういうことも発掘されて飯山の魅力として広まっていけば良い。

会長：絵を描いた人の奥さんが飯山市出身である。絵は鍋倉山だろうとのイメージがある。来年度に何か少しずつでも進めていければ良いと思う。

委員（高校生）：地区活性化センターへは数えるくらいしか行ったことがないので、そこに本を置くなら子ども向けより大人向けの本が良い。

委員（高校生）：図書館を利用したことがあまりない。

会長：広報飯山など図書館のお知らせがいろいろあるので見てほしい。

#### 4 その他

##### (1) 次回開催日時

1月中旬の平日の夕方調整することとする。

#### 5 閉会 館長